

# 浅間山山行報告

【山行日】 2024年 9月 29日(日) 曇り

【集 合】 岩舟支所P AM 5:30

【費 用】 マイカー2台 : 3,800円

【メンバー】 CL:鈴木ユ、SL:藤原ト、大塚、岸、小林、嶋田、鈴木ミ、並木、根本、福島

【コースタイム】岩舟支所 P5:30=車坂峠 P7:30/7:50~槍ヶ鞘 9:00/9:10~トミの頭 9:30~黒斑山 9:40/9:55~蛇骨岳 10:15/10:20~仙人岳 10:35/10:55~蛇骨岳 11:10/11:45~黒斑山 12:05/12:15~中コース分岐 12:35~車坂峠 P13:20/13:40=道の駅「雷電くるみの里」14:10/14:30=岩舟支所 16:40

山行アンケートで浅間山に登りたいとのリクエストがあり、車坂峠から黒斑山を經由し蛇骨岳まで登るコースを計画した。10名の参加者があり、2台の車に分乗し岩舟支所を5:30に出発する。



北関東道から上信越道を走り小諸ICで降りて、左折し浅間サンラインからチェリーパークラインを通過して車坂峠の駐車場に車を止める。トイレは朝早いのでビジターセンターは利用できず、道路上の公衆トイレを使用する。出発の準備を整えたら黒斑山の表登山口まで移動し、ストレッチを行ったら体験山行の方が2名いるので、自己紹介を行ってから出発する。カラマツ林の中に付けられた、溶岩の登山道を登って行く。火山岩を見ながら登るとすぐに車坂

山に着き、丸太の階段を下るとガレ場の登りになる。やがてガレ場から樹林帯の道を登るようになり、岩がゴロゴロした広場が現れる。岩の広場で小休止して水分を補給する。晴れていれば右手にハケ岳の展望が得られるが、あいにくの曇り空で展望は得られない。シラビソの樹林帯を登って行くと左側が開けた場所に出て、晴れていれば黒斑山の稜線が見えてくるが、今日は見る事が出来ない。さらに急登が続き、頑張って登ると黄色い避難シェルターに着き小休止する。ここから少し登って緩やかに下ると、槍ヶ鞘の展望所に着く。ここからは雄大な浅間山が目の前に現れ、「ウワ~凄い」と歓声が上がる場所だが、残念ながら絶景は望めなかった。休憩してナシや菓子を食べて、記念写真を撮ったら黒斑山に向かう。急な坂道を鞍部まで下り急なガレ場を登って行くが、右側が切れ落ちているので慎重に登って行く。復路に使う中コースの分岐を過ぎ、わずかに登るとトミの頭に着く。



ここからの展望も素晴らしいが、真っ白で何も見えずそのまま通過する。黒斑山には尾根伝いに進



み、一頑張り登ると山頂に出る。山頂では大勢の登山者が休憩し、我々もザックを下ろして休憩を取る。ここからも浅間山は見る事が出来ないが、山頂標識の前で記念写真を撮る。多くの登山者は黒斑山から引き返していたが、我々は蛇骨岳から仙人岳まで足を延ばす。シラビソの樹林帯の尾根をしばらく進むと、狭いトラバース道を進み岩場を乗り越えると蛇骨岳に出る。さらに岩稜を進むと平坦な道になり、晴れていれば展望を楽しみながら歩ける場所

である。周囲の展望は得られるので楽しく歩き、ガレた急坂を登ると仙人岳に着くが、ここでも展望は得られない。休憩して菓子をいただき、記念写真を撮ったら蛇骨岳に戻る。下って行くと浅間山の稜線が見えて喜んでいると、後ろから「反対側の下ってます」と声が掛かる。

ヤママップで確認すると反対側の下っているので登り返し、蛇骨岳に向かうと浅間山は見えなくなった。

蛇骨岳に戻ったらランチタイムにして、各自岩場に腰を下ろし昼食をいただく。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、お惣菜も出て美味しくいただいた。ここから往路を戻り黒斑山で小休止し、トーマの頭の先から中コースを下って行く。シラビソの樹林帯の登山道は深くえぐられていて、滑り易くて歩きにくい。登山道脇に新たに付けられた道など、歩き易い道を選んで下って行く。岩場の開けた場所に出て休憩し、ここからしばらくガレ場の下りが続き慎重に下って行く。下り



切ると平坦な道になり、カラマツ林の中を右に下ると道路に出て駐車場に着く。靴を履き替えたらビジターセンターでトイレを済ませ、車に乗って帰路につく。途中、道の駅「雷電くるみの里」に寄って買い物し、小諸ICから上信越道に入る。高速道は渋滞も無く順調に走り、予定より早く岩舟支所に帰着した。